

記入例

平成14年4月2日～平成18年4月1日の間に生まれた子を含め3人以上子どもを養育している場合、この書類が必要となります。

様式6号の9

大学生年代(22歳到達後最初の3月31日まで)の子についての記載が必要となります。
※大学生年代以上の子や、現在児童手当の受給対象となっている子についての記載は不要です。

すでに子が就職している場合、申立人が子を養育していることの証明として、下記の書類の写し等を提出していただくことがあります。

- ・子の健康保険証
- ・家賃や寮費の入金を証明できるもの(3ヶ月分以上)

(注)について、監護を下記のとおり申し立てます。

申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの(詳細は裏面を参照)

記

1	ふりがな 氏名 美唄 一朗	生年月日 平成 〇 年 〇 月 〇 日	就職している場合、その他を選択してください。 美唄市〇〇〇〇〇〇〇〇	住所		
個人番号	続柄 子	職業等(いずれかに○)※ 学生・無職・その他	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況(いずれかに○)	申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9				令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他(健康保険料を負担)
2	ふりがな 氏名 美唄 花	生年月日 平成 〇 年 〇 月 〇 日	札幌市〇〇〇〇〇〇〇〇	住所		
個人番号	続柄 子	職業等(いずれかに○)※ 学生・無職・その他	△△大学	令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他(扶養している) 健康保険料を負担
9 8 7 6 5 4 3 2 1 0						
3	ふりがな 氏名	生年月日 平成 年 月 日	住所			
個人番号	続柄	職業等(いずれかに○)※	通学先(学生の場合のみ)	卒業予定時期(学生の場合のみ)	申立人による監護相当の状況(いずれかに○)	(該当するものすべてに○)
		学生・無職・その他		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()	1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 〇年 〇月 〇日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 美唄市〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 美唄 太郎

郵送日、または窓口へ提出した日を記入してください。

児童手当を受給している者、または受給する予定の者を記入してください。
※配偶者や、児童の氏名では提出できません。

を記入してください。

※整理番号

※受付年月日 令和 年 月 日

監護相当者についての確認書

必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること(以下「監護相当」)

寮生活などの関係で、父母等と異なる住所に居住している場合、家賃等の入金がわかる記録のコピーを証明書として添付いただくことがあります。

生計費の負担について、3.その他に該当するものがある場合、具体的に記入してください。

子が学生である場合、学校に在籍している事実と卒業預手時期を確認できるもののコピーが必要となります。
例)学生証、在学証明証など。